

モンゴル

戦略

2011年4月7日

MSEマスターサービス協定歴史的調印

MSEマスターサービス協定が調印された。本日、モンゴル株式取引所(MSE)を運営するため、モンゴルの国家資金委員会とロンドン株式取引グループ(LSEG)はマスターサービス協定(MSA)に歴史的な調印をした。ふたつの機関はMSAを通し、向こう3年間の間にLSEの援助でMSEを近代化する細目に同意した。それは今年1月にMSEの再構築と発展のため、国有財産委員会(SPC)とLSEの排他的戦略提携協定の調印を思い起こさせるものである(1月19日に発表した我々のノート「*LSE Partners with Mongolia Stock Exchange: Major Boost for MSE and Real Coup for LSE*」をご参照下さい)。我々は、モンゴル資本市場の発展において長期的にプラスの影響力をもたらす大変重要な画期的出来事であると考えている。

LSEによるMSEの近代化。MSEは「この協定の枠組みの下、LSEはMSEに統合された証券取引システムを導入し、有効な法環境を整え、インフラ社会基盤やテクノロジー、国際基準に合った人的資源の将来性をもたらす」と報告した。この協定のもと、LSEは下記のような多くの分野でSPCと協力する。

- LSEは発展や民営化を監督するためにMSEのマネジメントチームを任命する
- LSEのMillenniumIT、一流の国際的なエクステンジテクノロジーのプロバイダーは、MSEへ取引や調査監視し、取引構造基盤を整える。
- 両団体はMSEの役人、顧客、モンゴル金融調整委員会のために、資本市場の構造基盤と立法上の枠組みにおいて包括的なトレーニングプログラムを行う。
- LSEはMSEに市場ルールや一連の処理手続き、MSE組織や管理運営の近代化への助言をする。
- LSEはMSEでデリバティブやETFへ取引可能な資産の種類が広がるように援助する。
- LSEは世界基準のモンゴルマーケット指標を実行させる。

この契約範囲は広く、マネジメントレベルの職員、短期的な専門コンサルタントどちらも含めた取引所のチームに反映され、テクノロジーの設備や実行以上にうまく行かだろ。時間に敏感な商品を持ち込むには、市場ルールと証券法の近代化が鍵のひとつだろ。明らかに、新しいマネジメントチームは向こう数ヶ月間に新しいテクノロジーにおける新たな一連の処理手続きを統合し、必須の法律や制度を整えることに重点をおく必要がある。

時を得た(タイムリーな)協定。モンゴル市民たちがまもなくエルデネスタバントルゴイのシェアを受けるだろうという発表後、MSAの契約文書作成とLSEのマネジメント契約の公式始動が大変よい時期に成された。民営化の望みや株式非公開会社のIPOの兆しとともに、時間が今刻々と過ぎている。市場は新しいマネジメントチームが新システムとオンライン手続きをいかに迅速にもたらすであろうかと見守っている。

ハキモフ フスニディン
アナリスト

hoosniddin.hakimov@eurasiac.com

公式発表で承認されたもので、もっとも重要なインパクトを持ちえるだろうものは、LSEチームの効果的時期市場構造基盤を提供する意志である。それは著しくコスト削減が進められ、市場においてより大きな資産の流動性を促し、国内及び外国の投資家の間で大きな信頼を得るであろう。それはまた適切にサポートしていく法制定の必要性が生まれ、このイニシアチブの発表は数ヶ月間注意深く見守られるべきである。現れている前進は、新しいマネジメントチームが最近の一連の民営化の始まりの前に、鍵となる市場構造基盤の改善を取り付けることができるかどうかのとても良い兆しとなるであろう。

提案されているLSEとトロント株式取引所(Toronto Stock Exchange)との合併はまだ起こりえる可能性があり、LSEとSPCとの提携はより多くの反響を起し、潜在的にモンゴルの企業が広範囲の国際投資家達接近する機会をもたらすだろう。

我々はこの協定がMSEの発展を加速させるであろうと考えている。MSEの発展はモンゴル企業にとって実現可能な資産の源となり、モンゴルの人々にとっては鉱物源からの富の配分を受ける効果的なルートとなる。隣国からの上場を引き付け、資源企業によって増える資産の地域のハブとするためLSEは長期にわたってMSEを援助するかも知れない。モンゴルが国際投資家の地図にしっかりと台頭し、MSCIフロンティア市場指数に加わることを期待する。それは早くも今年かも知れない。我々の提案の鍵は、そのローカルエクイティのエクスポージャーを勝ち取ることである。2010~2020年間、世界で最も優れた経済成長を遂げるとされているモンゴルは未だその初期段階にあるのだ。

連絡先

リサーチ

コシュナザロウ サルドル
ムサエフ ドスベルゲン
アミノフ アクマル
ヨンドン レンセンドルジ

リサーチ部部长、石油&ガス
アナリスト、戦略
アナリスト、金属鉱業
アナリスト、モンゴル株式

sardor.koshnazarov@eurasiac.com
dosbergen.musaev@eurasiac.com
akmal.aminov@eurasiac.com
rentsendorj.yondon@eurasiac.com

セールス&トレーディング (S&T部)

オラゼインベトフ ディマ
サディラリエバ ジルディズ
ラヒモフ シェルゾッド
ウルツィサイハン ボロル
ハキモフ フスニディン

S&T部部长
アソシエイト
アナリスト
ブローカー
アナリスト

dima.orazimbetov@eurasiac.com
zhyldyz.sadyralieva@eurasiac.com
sherzod.rakhimov@eurasiac.com
bolor.ulziisaikhan@eurasiac.com
hoosniddin.hakimov@eurasiac.com

事務所アドレス :

モンゴル

Suite 65, 6th Floor, Grand Office Center
Jamiyangun Street 12, 1st Khoroo
Ulaanbaatar
Tel: +976 7013 0078
Fax: +976 7013 0078

香港

33/F One International Finance Centre
1 Harbour View Street, Central
Hong Kong
Tel.: +852 2824 8716
Fax: +852 2166 8999

ユーラシアキャピタルはモンゴル、中国、ロシア、中央アジアに焦点を当てるウランバートルに本社を置く投資銀行です。弊社が政府機関、主なエネルギー及びリソース企業などを含む国際的な及び地域のお客様にクロスボーダーM&A及びアドバイザリー、資金調達、セールス&トレーディング及びリサーチサービスをご提供します。詳細はwww.eurasiac.comをご参照ください。

免責事項

本ニュースレポートは、情報提供を唯一の目的にして作られた物で、購入、保持、販売、投資申し込みまたはその他の金銭的な決定のオファーまたは勧誘ではありません。意思決定の際、投資家は、当事者とリスクの独自の検査に頼ることができます。本レポートに書かれた情報は正確かつ信頼できると判断された情報源から手に入れたものです。人間、機会、また他の要因のため誤りの可能性があり、いかなる種類の保証なしでの情報またはユーラシアキャピタルがその情報の正確性、適時性、完全性、商品性または適合性に関しては明示または黙示で代表になりません、また、保証はしません。いかなる状況の下で、ユーラシアキャピタルは、個人や法人にはいかなる損失または損害に関するその全部又は一部の責任は一切負いかねます。ユーラシアキャピタルは情報を使用するまたは使用できないことでの損害可能性について事前に通告されていても、損失又は損害の原因が取締役、経営者、役員、従業員、または代理による整理、分析、解釈、通信、出版などの配信などでのエラーを問わず一切の責任は負いかねますのでご了承ください。

©2011 Eurasia Capital Ltd. All rights reserved.